

[横浜市民ギャラリー]
 平成 27 年度業務報告及び収支決算
 [公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団]

- ※ 文中の事業欄において、
 ●：主催事業 ○：共催事業
 を示します。
- ※ 文中の達成指標欄において、
 □：定量的指標 ■：定性的指標
 を示します。

1 施設の概要

施設名	横浜市民ギャラリー
所在地	横浜市西区宮崎町 26-1(旧「職員厚生施設いせやま会館」) (平成 26 年 10 月～)
構造・規模	鉄筋コンクリート4階建(地下1階～地上4階) 竣工：昭和62年
敷地・延床面積	専有延床面積 3, 4 2 8 m ²
開館日	昭和 3 9 年 4 月 (移転後の平成26年10月10日から開館)

2 指定管理者

団体名	公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団
所在地	横浜市中区山下町 2 産業貿易センタービル 1 階
代表者	理事長 澄川 喜一
代表者設立年月日	平成 3 年 7 月 1 0 日
指定期間	平成 23 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日まで

3 指定管理に係る業務総括

(1) 基本的な方針の総括

前年度から新たに始まった市民ギャラリーの運営について、27年度は、お客様やスタッフの声を集めた上で微調整しながら、より現状の施設に適合するよう運営をして参りました。施設の周知も併せて、新ギャラリーのカラーが、市民の間に浸透してきたと思います。28年度からスタートする第3期指定管理者については、当ギャラリーの役割と実績を再認識し、市や財団の文化施策に沿ったものを念頭に、伝統に新しい試みを加味した提案を行い、共同事業体の構成員となる西田装美株式会社と共に指定管理者として指定を受けることが出来ました。これにより其々の専門を活かし

た施設運営が可能となり、28年度からの指定管理を見据えた効率的な組織体制を整えました。

業務の基準の使命の要約

(2) 27年度の業務の方針及び達成目標の総括

【全体業務について】
 様々な層を対象とした事業の実施や、近隣に配慮した貸館運営、近隣文化施設や町内会との協力体制構築など、当ギャラリーが誰でも気軽に訪れ、親しまれるよう、そして文化的コモンズの形成する交流の場となるよう、施設運営を行いました。

① 事業について
 横浜市民ギャラリー50年の歴史で培ってきた展覧会事業や、新たなニーズから生まれた講座事業など、全て計画通り実施しました。成果や入場者数とも概ね目標値に達しております。

② 運営について
 新ルールでの運用で、白紙のスタートより難しい場合も多々ありましたが、スタッフの根気強いコミュニケーションの成果で、公平で透明性のある施設運営を定着することができました。

③ 管理について
 建物管理業者のスタッフとの速やかな情報共有に努め、年間を通して事故の無い安全で快適な施設運営を実現できました。

④ その他について
 アクセスの改善のために送迎車を運行しました。利用者への周知に努め、月平均の利用者数が、前年度比13%増となっております。

4 業務の取組と達成指標

(1) 事業について

ア 展覧会について

<p>【目指す成果】 50年間かけて醸成し発信してきた展覧会3本のさらなる深化発展</p> <p>【成果についての振り返り】 「横浜市こどもの美術展」や「コレクション展」など、市民ギャラリー50年の歴史のなかで育まれてきた文化を大切にしつつ、「ニューアート展 NEXT2015」での地域連携や、「横浜市こどもの美術展」での新進作家の紹介など、新たな取り組みと広がりを作ることができました。</p>		
<p>【取組内容】 ●「横浜市こどもの美術展」 開館の翌年1965年から続く、市内在住・在学の12歳以下の幼児・児童を対象とした無審査のギャラリー全館を使用する公募</p>	<p>【達成指標】 <input type="checkbox"/> 出品点数（目標）：3,000点以上 <input type="checkbox"/> 開催時期および入場目標 7月31日～8月9日（10日間）、8,000名以上 <input type="checkbox"/> アンケート：回収率3%以上、顧客満足度4.0以上</p>	<p>【実施内容と達成状況】 <input type="checkbox"/> 出品点数：2,298点（未達） <input type="checkbox"/> 開催時期および入場者数 7月31日～8月9日（10日間）、9,834名（達成） <input type="checkbox"/> アンケート：回収率1.1%（未達）、顧客満足度4.6（達成） 応募作品をすべて展示し、“作品を見る楽し</p>

<p>展</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会場内に親子で参加できるワークショップや、子どもの造形をテーマとした講演会等を実施し、子どもの造形活動を多角的に応援 ・夏休みに開催することで、家族との来場を促し、親子の語らいの場としても機能させます <p>●「ニューアート展NEXT2015」 「今日の作家展」 (1964-2006)、「ニューアート展」(2006-2010)の流れを汲み、創造都市横浜からの発信というコンセプトを加え、横浜と関わりのある気鋭の若手作家を紹介している「ニューアート展NEXT」を開催します 2008年「黄金町バザール」の招聘作家として滞在制作し、それをきっかけに目覚ましい活躍を見せる</p>	<p>■期間中毎日開催する親子参加型事業の実施</p> <p>□親子参加型事業の参加者：500名以上</p> <p>□ボランティア参加：延べ100名以上 職業体験として中学・高校生ボランティアの参加も呼び掛け、本事業を通して幅広い世代間交流をも目指します</p> <p>□開催時期および入場目標 10月2日～18日（17日間）、4,000名以上</p> <p>□アンケート：回収率5%以上、顧客満足度4.0以上</p> <p>■期間中の記念事業：作家トーク、学芸員によるトークなど記念事業を5本以上企画し、市民と作品・市民と作家を近づけ、現代の作家が制作する作品への理解と興味を喚起します</p>	<p>さ”“見てもらいうれしき”自由参加ワークショップで“つくる楽しさ”を多くの子どもたちに体感していただきました。 新たな取り組みとして横浜出身の若手アーティスト川口恵里を起用し、チラシ・参加賞の缶バッジのイラストを新規に作成し、併せて体験型アニメーション等の上映を通じ、作家の活動紹介も行いました。</p> <p>■自由参加ワークショップ「アートハット」期間中毎日開催。 やわらかい紙と色とりどりのマスキングテープを使って自分だけの帽子を作る、子どもから大人まで自由に参加できるワークショップを開催しました。</p> <p>□参加者：612名（達成）</p> <p>■特別上映「かわぐちえりミニシアター」 「体験型アニメーション」上映</p> <p>□ボランティア参加：延べ56名。（未達） 高校生から80代まで幅広い層が参加し、ワークショップ運営で活躍しました。 職業体験として田園調布雙葉高校1年生2名を受け入れました。</p> <p>□開催時期および入場者数 10月2日～18日（17日間）、6,797名（達成）</p> <p>□アンケート：回収率2.9%（未達）、顧客満足度4.7（達成） 2008年に黄金町バザールで2カ月の滞在制作を行った画家・田中千智の横浜では7年ぶり、これまでの活動の中の最大規模の個展。異なるジャンルの作家と制作した作品や、本展のための大型の新作が登場し、全国から来場者がありました。</p> <p>■5本実施（10/3×2、10/4、10/11、10/17）（達成）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10/3アーティストトーク 田中千智氏とゲストに黄金町バザールディレクターの山野真悟氏をゲストに迎え、前
---	--	---

<p>田中千智（1980年兵庫県生まれ、現福岡県在住）を取り上げます</p> <p>●「コレクション展」 約1,300点の所蔵品の調査・研究にもとづきキュレーションの力で魅力的に紹介していきます 好評を得た前26年度の「開館記念展」に続き、取り上げる機会の少なかった所蔵品も多く取り上げます。戦後から1990年代初頭までの横浜・神奈川を中心とする作家を核とした貴重な所蔵品の魅</p>	<p>■横浜市が仕掛ける創造都市横浜の政策から育った作家の1人であり、こうした文化政策の取組を市民に理解してもらおうとともに、創造都市の文化事業を担う他施設・他事業との観客の回遊性を高められるよう広報面での協力を図っていきます</p> <p>□開催時期および入場目標 3月4日～20日（17日間）、4,000名以上</p> <p>□アンケート：回収率5%以上、顧客満足度4.0以上</p>	<p>半は2008年に黄金町で滞在制作をしたところのエピソードを、後半は現在にいたるまでの作品について作家自身が語りました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10/3オープニングレセプション 黄金町のアーティスト等との交流の場となりました。 ・10/4林正樹ピアノライブ 展示室にピアノを設え、田中千智の絵画に囲まれながら音楽を堪能できるライブ。ジャズを中心に様々なフィールドで活躍し、情感あふれる演奏が人気のピアニスト・林正樹が、田中の作品から着想を得た新曲や、即興曲も披露。贅沢なコラボレーションとなりました。 ・10/11、17担当学芸員によるギャラリートークを実施しました。 <p>■黄金町エリアマネジメントセンター、画廊、黄金町の商店等との連携に注力し、田中千智が2008年黄金町バザールで制作した「107人のポートレート」の一部を黄金町の各店舗で再び展示するなど、黄金町バザールとの相互協力により、黄金町一市民ギャラリー間の回遊性を生み出すことができました。新聞6紙8件記事掲載され、横浜市の文化政策アピールとなりました。</p> <p>□開催時期および入場者数 3月4日～20日（17日間）、4,625名（達成）</p> <p>□アンケート：回収率1.5%（未達）、顧客満足度4.5（達成）</p> <p>「風景-それぞれのまなざし」というテーマを設定し、「具象」「幻想」「印象」「日常」という4つの章で構成し、コレクションを紹介しました。また特集展示「柳原良平が描いたヨコハマ」では1978年に大通り公園の完成を記念して開催された「ヨコハマ漫画フェスティバル」で柳原が横浜の歴史や自身が好んだ風景を描いた全8点を展示しました。</p>
--	--	--

<p>力を紹介していきます</p> <p>○「第38回ヨコハマ日曜画家展」 日頃大きな会場で発表する機会の少ない絵画愛好家のため、NPO法人横浜美術友の会と当ギャラリーが共催で1977年から開催している美術展。初心者から上級者までを対象とする展覧会</p> <p>○「フォトヨコハマ2016」関連展 日本における写真発祥の地である横浜で開催される写真の国際イベントの一環として開催します。写真表現の“今”を取り上げ紹介するとともに、市民ギャラリー発行の情報誌でも同展を取り上げ、全市的な盛り上げに協力連携します</p>	<p>■ボランティア参加：のべ40名 鑑賞サポーターとしてのボランティアを募り、学芸員とともに作品について学びます。展覧会への市民参加を促し、所蔵品やギャラリー運営への市民理解を深めることを狙います</p> <p>□出品点数（目標）：300点以上 □開催時期および入場目標 5月26日～6月1日（7日間）、7,000名以上</p> <p>■通常市民ギャラリーを利用する美術団体・グループとは異なり、個人の愛好家・活動家が応募できる展覧会という点を広くアピールし、組織に属さなくても発表したい美術ファンのすそ野を広げます</p> <p>□開催時期および入場目標 2月9日～22日（14日間）、3,000名以上</p> <p>■フォトヨコハマ2016に参加する他施設・事業との連携や観客の回遊性を高めよう努めます。とりわけ、情報誌「横浜画廊散歩」で紹介している画廊で開催している写真展との効果的な広報連携を模索します</p>	<p>関連イベントとして3/5クロストーク「風景を撮る」を土田ヒロミ（写真家）、倉石信乃（明治大学教授）の出演で開催したほか、3/12担当学芸員によるギャラリートーク、横浜市民ギャラリー展覧会カタログ市を開催しました。</p> <p>■過去の図録の販売会の実施及び仮収蔵庫からの作品移送が同時期に重なったことから、準備のためボランティアの募集を行いませんでしたが、看視員16名の方に作品について学んでいただき、鑑賞サポーターとしての役割を果たしていただきました。</p> <p>□出品点数：612点（達成） □開催時期および入場目標 5月26日～6月1日（7日間）、6,733名。（未達）</p> <p>■個人の愛好家・活動家が応募できる展覧会という点を広くアピールし、油彩・水彩・パステル・日本画等612点の出品で、組織に属さなくても発表したい美術ファンのすそ野を広げました。</p> <p>■「フォトヨコハマ」実行委員会の都合により関連展の展示の開催は見合されましたが、「アートヨコハマ」「横浜画廊散歩」への広告掲載を通じて広報協力を行いました。次年度以降に向けての連携について検討を重ねています。</p>
---	--	---

イ 講座事業について

<p>【目指す成果】 開放的なアトリエ室で実技と教養の講座を開催し、展覧会事業に加え、“美術”をめぐるアプローチを多く提供して美術ファンのすそ野を広げます</p> <p>【成果についての振り返り】 実践的な内容や、座学的なものや、美術以外にも食文化を取り上げた講座などを実施、幅広い層の市民が横浜市民ギャラリーで事業を楽しみました。また、大人向けだけではなく子ども対象の講座事業も大変好評で、普段ギャラリーにはなじみの薄いファミリー層に向けてのアプローチにも成果が表れました。</p>		
<p>【取組内容】</p> <p>●ハマキッズ・アートクラブ 小学生以下の子どもを対象とした子どものための造形講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間テーマを設け、市民ギャラリーならではのプログラムで子どもの造形力を育みます ・市内の子どものための施設との連携を図り事業広報に努め、多くの子ども達の参加を募ります <p>●大人のためのアトリエ講座</p>	<p>【達成指標】</p> <p>□実施回数（予定）：9回（4, 9, 3月を除く月に実施）</p> <p>□参加者数：9回で180名以上</p> <p>□アンケート：回収率50%以上、顧客満足度4.0以上</p> <p>■テーマに沿った講師を選出し、約2時間の指導で作品を仕上げ、子どもに達成感とともに造形の喜びを体験してもらいます</p> <p>■ボランティア参加：のべ18名以上 講師と子ども達の間をつなぐ市民ボランティアを募集します。安心して制作に取り組めるよう子ども達の作業を見守ります</p> <p>内容によって、長期講座と短期講座に分けて実施します</p>	<p>【実施内容と達成状況】</p> <p>□9回実施（5/16「土粘土であそぼう」（34名）、6/20「えのぐであそぼう」（19名）、7/12「トートバッグにお絵描きしよう」（38名）、8/23「べったんアート」（34名）、9/26「なまえ de ダンス!」（1名）、11/28「はっぱでつくろうすてきな生き物たち」（28名）、12/19「クリスマスの立体カードをつくろう」（35名）、1/24「スーパーカーをつくろう」（34名）、2/21「カメラ・オブスクラをつくろう」（20名）（達成）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「Dance Dance Dance @YOKOHAMA2015」に合わせ、9/26は「ダンス」をテーマに実施しました。「フォトヨコハマ」に合わせ、2/21は写真・映像の起源をテーマに実施しました。 <p>□参加者数：9回計243名（達成）</p> <p>□アンケート：回収率79.2%、顧客満足度4.9（達成）</p> <p>■テーマに沿った講師を選出し、活動を通して「自分で考える」「自分で決める」「自分でする」ことの楽しさを体験し、自分で最後まで頑張るから素敵な作品ができるという経験をしてもらいました。</p> <p>■より子どもたちが安心して制作に取り組めるように、ボランティアの募集を見合わせ、代わりに講師経験を持つアルバイトをアトリエ開講日に雇用し、子どもたちの作業を見守りました。</p> <p>□実施回数34回（「オープンスタジオモードクロッキー」Aコース4回（20名）、Bコース</p>

<p>専門的な創作活動を体験することができる造形講座</p> <p>●教養講座「ハマゼミ」 芸術文化の各分野で活動している方を講師に招き、それぞれのテーマでお話しをきく教養講座</p>	<p>□実施回数（予定）：長・短講座合わせて32回以上</p> <p>□参加者数：32回で640名以上</p> <p>□アンケート：回収率50%以上、顧客満足度4.0以上</p> <p>□実施回数：4回</p> <p>□参加者数：4回で150名以上</p> <p>□アンケート：回収率10%以上、顧客満足度4.0以上</p> <p>■所蔵作家、過去の展覧会や事業で招聘した作家や美術評論家等を講師に迎え、過去と現在を繋ぎ新たな光を当て、市民ギャラリーならではの教養講座を開催します</p>	<p>4回（10名）、Cコース4回（12名）、Dコース4回（17名）、「静物を描く-水彩による表現」講師：清野晃代（画家）6回（19名）、「古典絵画をまなぶ・金箔技法にふれる」講師：上野淑美（絵画修復士）4回（17名）、「日本画の描き初め」講師：高橋浩規（日本画家）6回（22名）、「日本の美・和菓子を楽しむ」講師：重田親人（和菓子しげた）1回（20名）、「写真をならべる、時間をならべる」講師：鈴木理策（写真家）1回（8名）（達成）</p> <p>■作家である講師の制作に触れながら基礎技法を学び、自主的な創作活動へとつなげる機会をもたらしました。</p> <p>□参加者数：34回578名（未達）</p> <p>□アンケート：回収率83.6%、顧客満足度4.5（達成）</p> <p>□実施回数4回（6/27「おしゃべりな絵と旅をする」講師：大庭明子（版画家）19名、8/29「Bゼミの歴史」講師：小林晴夫（blanClassディレクター・アーティスト）14名、12/5「現代美術をたのしむ」講師：岡田裕子（現代美術家）35名、2/13「風景以後」講師：北島敬三（写真家）30名（達成）</p> <p>□参加者数：4回で98名（未達）</p> <p>□アンケート：回収率73.8%、顧客満足度4.4（達成）</p> <p>■所蔵作家である大庭明子氏、市民ギャラリーで1960年代から2000年代まで開催されたBゼミ展の歴史をBゼミ創設者の子息である小林晴夫氏、横浜・黄金町にスタジオを持つ岡田裕子氏、「フォトヨコハマ」開催にあわせて写真家の北島敬三氏を講師に迎え、市民ギャラリーならではの教養講座を開講しました。</p>
--	--	--

ウ コレクション管理について

[目指す成果]

前2年間で健全化した全所蔵作品の維持管理と、作品データとの付合更新を実施します。また、からし期間を1年確保した新ギャラリーの収蔵庫の環境維持管理に努めます

<p>[成果についての振り返り]</p> <p>1年間のIPM作業を通して、アドバイザーと密な情報共有を持ちながら、現状で出来る限りの対応を行いました。予定通り、3月中に、収蔵庫の稼働と全所蔵作品の移設を実施しており、今後28年度においても、専門家の意見を参考にしながら、引き続き収蔵庫や作品のための環境維持管理に努めてまいります。</p>		
<p>[取組内容]</p> <p>●所蔵作品の維持管理、調査研究、作品データの更新管理、収蔵庫の環境維持管理</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■定期的な仮収蔵庫での所蔵品の点検と確認</p> <p>■全所蔵作品=約1,300点のデータの更新管理</p> <p>■収蔵庫および収蔵庫周辺の環境維持管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収蔵庫内：清掃・空調管理と点検・消毒の徹底 ・収蔵庫周辺：通路の消毒清掃、外の植込みの落葉の収集清掃、空気環境調査 <p>■計画的な所蔵品の修復</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>■4月～1月は月1、2回点検を実施、2月以降は3月に決まった作品移送に向けて週2回～5回点検作業を実施しました。</p> <p>4/24、5/28、6/18、7/22、8/27、9/8、10/23、11/5、9、13、12/16、1/15、28、2/9、16、17、19、22、23、27、3/1、7、8、10、11、14、15、17、19、22、</p> <p>■年間を通じ作品のデータの更新管理を随時行いました。</p> <p>■からし期間を確保した新ギャラリー収蔵庫内の環境維持管理を週に1回行い、清掃やデータ取得に努めました。また、横浜市が委託している「収蔵庫の環境調査」に協力し、業務の基準には含まれていないIPM作業も毎月1度程度実施し、館内の温湿度管理、目視点検、トラップの回収、サンプルの採取、マンホール内薬剤投入等を綿密に実施しました。</p> <p>■収蔵庫のからし期間を1年間確保したことにより、今年度は所蔵作品修復は実施しませんでした。次年度以降に向けて点検作業を通じ修復必要度を確認しました。</p>

エ 広報事業について

<p>[目指す成果]</p> <p>目的に沿った情報誌の定期発行と発信力の強化</p> <p>市内美術施設との広報連携により美術のすそ野を広げ美術振興に寄与する</p> <p>[成果についての振り返り]</p> <p>計画通り、市内の美術関係者との連絡をとりながら情報誌の発行をしてまいりました。特に「横浜画廊散歩」や「ヨコハマ・ギャラリーマップ」の発刊は、横浜市内の美術振興の一翼を担っております。また横浜美術館の展覧会情報をエントランスのモニターで流すなど、広報連携とともに来館者へわかりやすい美術情報を伝える取組みを実施いたしました。</p>		
<p>[取組内容]</p> <p>●情報誌の発行</p> <p>定期情報誌を発行すると</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■ホームページとの連動</p> <p>いずれの情報誌もホームページと連動</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>■「アートヨコハマ」、「ヨコハマギャラリーマップ」、「横浜画廊散歩」3種類の情報誌を</p>

<p>ともに HP との連動で市民ギャラリーの発信力を高めます</p> <p>①アートヨコハマ 施設情報誌(自主と貸館の案内)</p> <p>②ヨコハマ・ギャラリー・マップ 市内美術施設の基本情報の掲載</p> <p>③横浜画廊散歩</p>	<p>させ、市民ギャラリーおよび市民ギャラリー関連施設の最新情報を市民に提供します</p> <p><input type="checkbox"/>発行回数：3回(6, 10, 2月)</p> <p><input type="checkbox"/>発行部数：10,000部/回</p> <p><input type="checkbox"/>配布箇所：1,100箇所以上(学校ポスト550箇所を含む)</p> <p><input type="checkbox"/>発行回数：1回(7月)</p> <p><input type="checkbox"/>発行部数：15,000部</p> <p><input type="checkbox"/>配布箇所：1,100箇所以上(学校ポストを含む)</p> <p><input type="checkbox"/>発行回数：12回(毎月発行)</p> <p><input type="checkbox"/>発行部数：4,000~5,000部/月</p> <p><input type="checkbox"/>配布箇所：220箇所以上(毎月)</p>	<p>発行し、ホームページと連動させ、市民ギャラリーおよび市民ギャラリー関連施設の最新情報や市内の展覧会情報を市民に提供しました。</p> <p><input type="checkbox"/>3回(6, 10, 2月)</p> <p><input type="checkbox"/>発行部数：10,000部/回</p> <p><input type="checkbox"/>配布箇所：1,100箇所配布(学校ポスト550箇所含む)</p> <p><input type="checkbox"/>1回(6月)</p> <p><input type="checkbox"/>発行部数：15,000部</p> <p><input type="checkbox"/>配布箇所：1,100箇所配布(学校ポスト550箇所含む)</p> <p><input type="checkbox"/>発行回数：12回(毎月発行)</p> <p><input type="checkbox"/>発行部数：4,500部/月</p> <p><input type="checkbox"/>配布箇所：220箇所(毎月)</p>
--	--	---

(2) 運営について

ア 創造活動の発表の場の提供について

<p>[取組内容]</p> <p>公平性・透明性に基づき抽選方式により展示室の利用を決定し、市民の創造活動の発表の場として提供します</p> <p>・全展示室利用 全展示室を利用しなければ展覧会開催が出来ない団体を1~5室利用より優先して抽選します</p> <p>・1~5室の利用する団体</p>	<p>[達成指標]</p> <p>抽選後に空き室があった場合には先着順での利用を認めます。一連の利用の仕組みにより、決定の公平性を確保しつつ、施設の有効利用に努めます。さらに、利用が決まった団体には展覧会開催・終了まで助言と運営支援を行います。また、全面改訂を行った利用の手引きを広く配布し新規利用団体の開拓にも努めます</p> <p>■全展示室利用 規模の大きな団体を優先し、利用の前々年度の3月下旬に抽選により決定します。ただし1か月につき1団体まで</p> <p>■1~5室の利用 毎月10日に抽選。利用希望月の1年前の月の1~7日に抽選申込書で受付し、</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>旧来からの利用団体も新規登録団体も区別なく同じ条件で抽選に参加でき、抽選後に空き室があれば先着順での利用を受け付けました。一連の利用の仕組みにより、決定の公平性を確保し、空室の放置をなくし、施設の有効利用に努めました。</p> <p>さらに、利用が決まった団体には展覧会開催・終了まで助言と運営支援を行いました。全面改訂を行った利用の手引きを広く配布し、新規利用団体の開拓にも努めました。</p> <p>■全展示室利用 H29年度全展示室利用 抽選日：3/25 抽選参加団体：15団体 決定団体：10団体</p> <p>■1~5室の利用 抽選日：毎月10日(1月のみ25日)</p>
--	--	---

<p>・空き室の申込み</p> <p>抽選が終わった月で空き室があった場合に申込みを受付ます</p>	<p>10日に公開抽選し決定します</p> <p>■空き室の申込み</p> <p>抽選がすべて終わった後、毎月15日から空き室を先着順で受け付け決定します</p> <p>■展覧会開催に向けての支援</p> <p>利用決定後、展覧会開催・終了までの利用打合せ・展示作業及び展覧会期間中の運営サポートや広報面でも協力助言し、安心して展覧会が開催できるよう支援していきます</p> <p>□展示室利用率 85%以上</p> <p>■利用の手引きをはじめ施設パンフレットの配布先を従来利用の少なかった若年層の開拓を目的として教育機関(大学、専門学校など)等にも広げます</p>	<p>■空き室の申込み</p> <p>抽選がすべて終わった後、毎月15日から先着順にて受け付けました。</p> <p>■利用決定後、展覧会開催・終了までの利用打合せ・展示作業及び展覧会期間中の運営サポートや広報面でも協力助言し、安心して展覧会が開催できるよう支援しました。</p> <p>□展示室利用率 93%</p> <p>■利用の手引き、施設パンフレットを教育機関や来館の学生等に配布先を広げました。</p>
--	--	--

イ 美術の創作活動の場について

<p>[取組内容]</p> <p>美術の創作活動の場として、また美術講座の開催の場としてアトリエを市民利用に供します</p>	<p>[達成指標]</p> <p>美術の創作活動および教養活動に貸出し、3か月ごとに3か月分を抽選し決定します。単発・単日利用だけでなく最大3か月連続の長期利用にも対応します</p> <p>□抽選会：年4回(4・7・10・1月の10日)</p> <p>□利用期間：月最大4日まで利用可能</p> <p>□アトリエ利用率 30%以上</p> <p>■自主事業への参加や貸館の展覧会開催時のアトリエ附带利用(講評会、授与式等)などをきっかけにアトリエの周知と利用促進を図ります</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>グループだけでなく個人の創作活動および教養活動に貸出し、3か月ごとに3か月分を抽選し決定しました。空き室は抽選終了後、毎月15日から先着順にて受け付けました。</p> <p>□抽選会：年4回(4・7・10月の10日・1月25日)</p> <p>□利用期間：月最大4日まで利用可能</p> <p>□アトリエ利用率 41%</p> <p>■自主事業で様々な企画を実施することや貸館の展覧会の関連事業での利用を支援することで、アトリエの汎用性の高さを周知し、利用促進を図りました。</p>
--	--	---

ウ 諸室の利用内容について

<p>[取組内容]</p> <p>① 開館について</p> <p>② 利用料金について</p> <p>③ 利用率について</p> <p>④ 来場者数について</p>	<p>[達成指標]</p> <p>① □開館について</p> <table border="1" data-bbox="512 1823 954 1924"> <tr> <td>開館日数</td> <td>348日</td> </tr> <tr> <td>営業時間</td> <td>10時～18時</td> </tr> </table>	開館日数	348日	営業時間	10時～18時	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>①開館について</p> <p>開館日数：347日(1/5からの収蔵庫消毒業務に備えて準備のため1/4を臨時休館日としました)</p> <p>営業時間：10時～18時</p>
開館日数	348日					
営業時間	10時～18時					

② □利用料金について

展示室	面積 (㎡)	料金/日 (円)	
		入場無 料	入場有 料
地下 1 階	170	5,000	10,000
1 階	184	5,500	11,000
2 階	全面	396	11,500
	A	225	6,500
	B	171	5,000
3 階	全面	396	11,500
	A	225	6,500
	B	171	5,000
全 室	1,146	33,500	67,000

ア ト リ エ	面積 (㎡)	区分利用料 金	一日
		10:00~ 13:30 14:00~ 17:30	
平 日	148.6	6,500	12,000
土 日 祝		7,500	14,500

駐車場	30分 100円
-----	----------

③ □利用率について

展示室目標：85%

アトリエ目標：30%

駐車場目標：20%（展示・撤去日の貸館団
体の優先利用も含む）

② □利用料金・駐車場料金については業
務の基準に基づき、適正に徴収しました。

③

展示室：93%（達成）

アトリエ：41%（達成）

駐車場：25%（達成）

直前や当日の利用申込にも対応し、利用

	<p>④□来場者数について 平成 27 年度来館者数：25 万人</p>	<p>者を最大限サポートしました。 ④平成27年度来館者数：264,716人（達成）</p>
--	--	--

エ 組織的な施設運営について

<p>[取組内容]</p> <p>① 適切な人材の配置</p> <p>② 適切かつ効果的な勤務体制</p>	<p>[達成指標]</p> <p>① □人材の配置について</p> <table border="1" data-bbox="507 479 975 969"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>人数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>館長</td> <td>1人</td> <td>固有</td> </tr> <tr> <td>副館長</td> <td>1人</td> <td>固有</td> </tr> <tr> <td>庶務経理</td> <td>1人</td> <td>固有</td> </tr> <tr> <td>学芸・事業</td> <td>3人</td> <td>固有</td> </tr> <tr> <td>施設管理担当</td> <td>4人</td> <td>職能・契約</td> </tr> <tr> <td>常勤アルバイト</td> <td>2人</td> <td>週4～5日</td> </tr> <tr> <td>短期アルバイト</td> <td>2人</td> <td>展示・撤去作業時のみ</td> </tr> </tbody> </table> <p>② □勤務体制について</p> <p>ローテーション体制</p> <p>主催事業や貸館内容に応じて、勤務体制を調整し、柔軟に対応します</p> <p>公休者を除く、基本配置数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務室スタッフ 常時5名以上 ・設備管理スタッフ <p>開館時：設備1名、警備2名、清掃1名。4名以上</p> <p>閉館時：警備1名</p>	項目	人数	備考	館長	1人	固有	副館長	1人	固有	庶務経理	1人	固有	学芸・事業	3人	固有	施設管理担当	4人	職能・契約	常勤アルバイト	2人	週4～5日	短期アルバイト	2人	展示・撤去作業時のみ	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>① □人材の配置について</p> <table border="1" data-bbox="1002 479 1441 969"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>人数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>館長</td> <td>1人</td> <td>固有</td> </tr> <tr> <td>主席エデュケーター</td> <td>1人</td> <td>職能</td> </tr> <tr> <td>副館長</td> <td>1人</td> <td>固有</td> </tr> <tr> <td>学芸・事業</td> <td>3人</td> <td>固有・契約</td> </tr> <tr> <td>施設管理担当</td> <td>4人</td> <td>職能・契約</td> </tr> <tr> <td>常勤アルバイト</td> <td>2人</td> <td>週4～5日</td> </tr> <tr> <td>短期アルバイト</td> <td>3人</td> <td>自主事業実施に合わせて</td> </tr> </tbody> </table> <p>② □勤務体制について</p> <p>ローテーション体制</p> <p>主催事業や貸館内容に応じて、勤務体制を調整し、柔軟に対応しました。</p> <p>公休者を除く、基本配置数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務室スタッフ 常時5名以上 ・設備管理スタッフ <p>開館時：設備1名、警備2名、清掃1名。4名以上</p> <p>閉館時：警備1名</p>	項目	人数	備考	館長	1人	固有	主席エデュケーター	1人	職能	副館長	1人	固有	学芸・事業	3人	固有・契約	施設管理担当	4人	職能・契約	常勤アルバイト	2人	週4～5日	短期アルバイト	3人	自主事業実施に合わせて
項目	人数	備考																																																
館長	1人	固有																																																
副館長	1人	固有																																																
庶務経理	1人	固有																																																
学芸・事業	3人	固有																																																
施設管理担当	4人	職能・契約																																																
常勤アルバイト	2人	週4～5日																																																
短期アルバイト	2人	展示・撤去作業時のみ																																																
項目	人数	備考																																																
館長	1人	固有																																																
主席エデュケーター	1人	職能																																																
副館長	1人	固有																																																
学芸・事業	3人	固有・契約																																																
施設管理担当	4人	職能・契約																																																
常勤アルバイト	2人	週4～5日																																																
短期アルバイト	3人	自主事業実施に合わせて																																																

(3) 管理について

ア 施設運営について

<p>[取組内容]</p> <p>安全と効率性に配慮し着実な施設運営を行います</p>	<p>[達成指標]</p> <p>市民に開かれ支持される施設をめざします</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>新ギャラリーに必要な業務を洗い出し、業務内容により仕分けし、安全と効率性に配慮し着実な施設運営を行いました。</p> <p>①業務の基準に基づき、適切な自主管理を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・契約業務全般
---	--	--

<p>① アクセス改善</p> <p>② ホームページの特性を生かした自主・貸館広報の強化</p> <p>③ アンケート回収率アップへの工夫と取組</p> <p>④ 閲覧コーナーの設置</p>	<p>①■送迎車サービスの着実な運行</p> <p>②■自主事業の参加申込みをホームページでも受け付けます</p> <p>■利用状況を即時提供し空室の申込みを取り込みます</p> <p>■開催内容だけでなく展示風景をホームページで紹介し利用団体への広報支援を行います</p> <p>③■アンケート実施の目的を明確にするとともに、来場者には回答しやすい環境を提供します</p> <p>□アンケート回収率 来場者 0.4%以上、利用団体 20%以上</p> <p>④■市民ギャラリーが発行した図録やパンフレットのバックナンバーを閲覧できる書架を設置し来館者サービスの</p>	<p>一般市民対応 展示室、アトリエ室の開閉館、全館巡回、収蔵庫および前室の管理</p> <p>②ビル管理受託者への委託</p> <p>定期的に打合せを実施し、意見交換や情報共有を行いながら、業務の基準に基づき適切に実施しました。</p> <p>・設備、清掃、警備業務を委託</p> <p>設備：電気室、機械室、中央監視システムの保安全管理</p> <p>清掃：事務室および事務室廻りの諸室を除く全館</p> <p>警備：総合案内、駐車場</p> <p>⑤ 外部事業者への委託</p> <p>送迎車サービス、機械警備、植栽剪定、自動販売機管理など専門業者に委託したほうが経済性・効率性が高い業務を、業者選定および競争見積もりによって適切に業者を選定し、契約内容に沿って委託し、業務の基準に基づき適切に実施しました。</p> <p>①送迎車サービスを着実に運行しました。定員を超えて待合の方がいた場合は時刻表に関係なくピストン輸送しました。</p> <p>②■自主事業の参加申込みをホームページでも受け付けました。</p> <p>■利用状況を即時提供し空室の申込みの取り込みを図りました。</p> <p>■開催内容だけでなく展示風景をホームページで紹介し利用団体への広報支援を行いました。</p> <p>③■アンケート実施の目的を明示するとともに、机と椅子を新調し、来場者に回答しやすい環境を提供しました。</p> <p>□アンケート回収率 来場者 0.082% (未達)、利用団体 98%</p> <p>④ 施設の動線が定まりきらず、閲覧コーナーの設置は実施しませんでした。3月のコレクション展に併せて市民ギャラリー</p>
--	---	--

	一助とします	が発行した図録の展示・販売を行いました。
--	--------	----------------------

イ 安全管理計画について

<p>[取組内容]</p> <p>市民ギャラリー独自の防災計画を作成し、適切な安全管理計画を策定します</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■所管消防署への届け出 防火管理者の選定、消防計画の作成、即時通報対象物の提出</p> <p>■避難訓練 開館市民利用時を想定し年2回の避難訓練を実施します</p> <p>■貸館利用者への対応 事前説明、展覧会初日、会期中の毎日の3段階で説明し、避難路等の周知を徹底します</p> <p>■日常点検 ・施設職員により、開閉館と開館中に4回（合計6回）全館の巡回点検を実施 ・ビル管理・設備職員により、館内・敷地内・敷地周辺の日常点検を実施</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>■平成26年度に届出済。3月には避難ハッチ更新に伴う諸届出も行いました。</p> <p>■避難訓練を8月20日、2月12日の2回実施しました。8月は西消防署によるAED研修を全員受講し、2月は消火器の使い方と設置場所の確認を行いました。</p> <p>■事前説明、展覧会初日、会期中の毎日に貸館利用者に説明し、避難経路の周知を徹底します。</p> <p>■日常点検 ・施設職員により、開閉館と開館中に4回（計6回）全館の巡回点検を実施しました。 ・ビル管理・設備職員により、館内・敷地内・敷地周辺の日常点検を実施しました。</p>
---	--	---

ウ 修繕・保守計画について

<p>[取組内容]</p> <p>施設の長寿命化を図るため、適切な業者に保守点検を委託するとともに、貸館利用者にも施設の美観維持管理への理解協力を求めます</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■保守点検 日常機器：エレベーター、シャッター、自動ドア 専門設備：電気工作物、空調設備、消防設備 専門性・安全性が必要な業務は、いずれも適切な手続きで業者を決定し、定期的な保守点検を実施します。修繕については、これらの保守点検業者およびビル管理業者と協議し、横浜市・財団事務局とも相談し、計画的な修繕を実施します</p> <p>■日常点検から得られるデータ活用 毎日定時に各種点検を実施し、点検から得られる数値を活用し、異常や異変</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>■保守点検 業者選定、競争見積によって委託業者を決定し、契約内容に沿って委託し、業務の基準に基づき適切に保守点検を実施しました。展示室壁面に関しては職員によるリタッチを実施しました。</p> <p>■毎日定時に各種点検を実施し、点検から得られる数値を活用し、特に収蔵庫周辺の湿度管理には細心の注意を払い、異常や異変を迅</p>
---	---	---

	を迅速に察知できる体制を整え、速やかな措置・対応を行います	速に察知し、速やかな措置・対応を行いました。
--	-------------------------------	------------------------

(4) その他について

ア アクセス改善について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<p>最寄の JR 桜木町駅と横浜市民ギャラリーを無料の送迎車を走行します。原則として、障がい者、高齢者を優先とするサービスとします</p>	<p>広く周知し、利用を高め、アクセス改善の一助とします</p> <p>■対象：原則として障がい者、高齢者に配慮したサービスですが、空席があれば一般の方の乗車も可</p> <p>■走行頻度：平日 30 分おき、土日祝 20 分おき。ただし待合者が居る場合は時刻表にかかわらずピストン走行を実施します</p> <p>■周知宣伝 館内、HP で宣伝を徹底します。また事業開催時、貸館事前打合せでも周知を心掛けます</p>	<p>広く市民一般に周知し、利用を高め、アクセス改善の一助としました。</p> <p>■原則として障がい者、高齢者に配慮したサービスですが、空席がある際は一般の方にもご乗車いただきました。</p> <p>■平日 30 分おき、土日祝 20 分おきに運行しました。定員を超える待合者が居る場合は時刻表にかかわらずピストン走行を実施しました。</p> <p>■周知宣伝 館内、HP で宣伝を徹底するとともに、事業開催時、貸館事前打合せでも周知を心掛けるほか、桜木町観光案内所でも迷ったお客様に乗り場をご案内いただけるよう、ご協力をいただきました。</p>

イ 新規利用開拓と周辺施設・住民への配慮について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<p>従来からの利用者へのサービスとともに、新規利用者の開拓、周辺施設・住民にも配慮した運営を心掛けます</p>	<p>■新規利用者の開拓 自治体や教育機関（大学、専門学校など）への広報</p> <p>■周辺施設・住民への配慮 近隣の公共施設や集合住宅等へ自主事業をはじめ適宜施設運営について情報提供を行うことで、地域に理解されるよう努めます</p>	<p>■新規利用者の開拓 施設利用大学を中心に「利用案内」の配布を依頼しました。また利用の問合せには丁寧に対応し、利用につなげました。</p> <p>■周辺施設住民への配慮 近隣の公共施設や集合住宅等へ自主事業や貸館利用など適宜施設運営について情報提供を行いました。常に周辺施設、住民に配慮し、地域に理解されるよう努めました。町内会へ参加し、1月4日早朝のゴミ拾い等地域活動へも参加しました。</p>

(5) 収支について

ア 収支について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
指定管理料や施設利用料以外の収入の開拓と適切な支出管理	<p>■施設および事業収入</p> <p>施設利用料収入：11,218,000 円 駐車場利用料収入：720,000 円 講座料収入：1,940,000 円</p> <p>■多様な収入源の確保</p> <p>助成金・広告料・協賛金など幅広い収入源の確保に努めます</p> <p>□目的外利用収入：500,000 円 ※自動販売機手数料 雑収入：93,000 円 ※コピー機手数料等 助成金・協賛金獲得目標：200,000 円 広告料獲得目標：396,000 円</p> <p>■適切な支出管理</p> <p>常に適正価格の発注、費用の節減に努めます</p> <ul style="list-style-type: none">・適正な内容の仕様書の作成・入札および競争見積による業者の決定・光熱水費をはじめ諸経費の節約	<p>■</p> <p>施設利用料収入：11,287,870 円 (達成) 駐車場利用料収入：1,140,200 円 (達成) 講座料収入：1,481,400 円 (未達)</p> <p>□目的外利用収入：217,736 円 (未達)</p> <p>雑収入：201,784 円 (達成) 助成金・協賛金 280,000 円 (達成) 広告料：388,000 円 (未達)</p> <p>現物協賛： 細巻Pカットテープ 5kg 飲料 2 ケース 協賛価格購入： マスキングテープ 4kg</p> <p>■適正な内容の仕様書を作成し、入札および競争見積による業者の決定を行い、適正価格での発注、費用の圧縮を心がけました。空調機器等の適切な運転計画や、こまめな設定変更で光熱水費の節約に努めました。</p>

5 収支決算額について

(2) 収支決算書

(単位：円)

項目	予算額	決算額	差額	備考
収入				
指定管理料収入	156,221,000	156,221,000	0	
利用料金収入	11,218,000	11,287,870	69,870	
事業収入	1,940,000	1,607,400	▲332,600	
その他収入	1,909,000	2,390,740	481,740	駐車場利用料増
合計	171,288,000	171,507,010	219,010	

支出				
人件費	65,779,000	58,230,357	▲7,548,643	人員配置の差異
管理費	70,790,000	53,979,638	▲16,810,362	年間実績値のない中での予算作成値との差異及び燃料単価下落、入札による減、及び保守見送り
事業費	17,915,000	16,636,152	▲1,278,848	
事務費	16,804,000	17,583,542	779,542	備品の買い足し
合計	171,288,000	146,429,689	▲24,858,311	

収支計	0	25,077,321	25,077,321	
-----	---	------------	------------	--

【別紙】自主事業一覧

No	実施時期	主催 共催	事業タイトル	会場	事業内容	入場者(人) (見込者数)	事業費 (千円)
1	10月 10/2-18	主催	ニューアート展 NEXT2015 田中千智 展 I am a painter [関連事業] ・アーティストトーク (10/3) ・林正樹ピアノライブ 「夜のピアノと夜の絵 たち」(10/4) ・担当学芸員による ギャラリートーク (10/11,17)	展示室1F、 B1F	創造都市横浜からの発 信というコンセプトを加 え、横浜と関わりのあ る気鋭の若手作家を紹 介する展覧会。2008年 「黄金町バザール」の 招聘作家として滞在制 作し、それをきっかけに 目覚ましい活躍を見せ る田中千智を取り上げ る	6,797 (4,000)	4,716
2	7-8月 7/31-8/9	主催	横浜市こどもの美術 展 2015 [関連事業] ・自由参加ワークショ ップ「アートハット」 ・かわぐちえりミニシ アター	全館	市内在住・在学の12歳 以下の幼児・児童を対 象とした無審査のギャ ラリー全館を使用する 公募展	9,834 (8,000)	2,343
3	3月 3/4-20	主催	横浜市民ギャラリー コレクション展 2016 風景—それぞれのま なざし [関連事業] ①クロストーク「風景 を撮る」(3/5) ②学芸員によるギャ ラリートーク(3/12) ③横浜市民ギャラ ー展覧会カタログ市 (3/4-3/20)	展示室1F、 B1F	約1,300点の所蔵品の 調査・研究にもとづき、 キュレーションの力で 魅力的に紹介する	4,625 (4,000)	3,078
4	4-2月	主催	大人のためのアトリ エ講座	アトリエ	専門的な創作活動を体 験することができる造 形講座	145 (640)	1,507
5	5-2月	主催	ハマキッズ・アートク	アトリエ	小学生以下の子どもを	229	932

			ラブ		対象とした子どものための造形講座	(180)	
6	6-2月	主催	教養講座「ハマゼミ」	アトリエ	芸術文化の各分野で活動している方を講師に招き、それぞれのテーマでお話しをきく教養講座	578 (150)	427
7	4月	共催	加藤訓子 「クセナキプロジェクト」	展示室 B1F	若手アーティスト支援。「音楽インスタレーション」の実験空間として実施し、市民に公開	60	0
8	5月 5/26-6/1	共催	第38回ヨコハマ日曜画家展	全館	初心者から上級者までを対象とする個人の愛好家・活動家が応募できる展覧会	1,183 (7,000)	0
9	4-3月	主催	コレクション管理	仮収蔵庫	仮収蔵庫での所蔵品の点検・データ更新、新ギャラリー収蔵庫の整備		
10	4-3月	主催	情報誌発行		情報誌 3種の発行およびホームページと連動させギャラリーの発信力を高める		
11	4-3月	主催	市民協働	展示室、アトリエ	自主事業で市民ボランティアを募集し、芸術文化事業への市民参加・理解を促す		
12	12/7,9	主催	横浜市芸術文化教育プラットフォーム 学校プログラム	市内小学校	横浜市内の学校へ芸術文化芸術を届けるプログラムをコーディネーターとして実施	140	